

TRIO VENTUS

RECITAL

Emotive Framework 2

VIOLIN 廣瀬心香 CELLO 鈴木皓矢 PIANO 石川武蔵

2024 3.15 FRI

18:30開場 / 19:00開演

Hakuju Hall

代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分
代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

Schubert Notturmo in E-flat Major, D 897, Op.posth.148
シューベルト ノットウルノ 変ホ長調 D 897 作品148

Schumann Piano Trio no.1 in D Minor op.63
シューマン ピアノ三重奏曲第1番 ニ短調 作品63

Beethoven Piano Trio No.7 in B flat major, Op.97 "Archduke"
ベートーヴェン ピアノ三重曲第7番 変ロ長調 作品97【大公】

全席自由

一般¥4,000 / 学生¥2,000

●チケット販売

・TRIO VENTUS 公式サイト www.trioventus.com

・チケットぴあ <https://t.pia.jp>

●問い合わせ先

・TRIO VENTUS trioventus03@gmail.com

主催:TRIO VENTUS

助成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【東京ライブ・ステージ応援助成】



公演・
チケット
詳細



TRIO VENTUS トリオ・ヴェントゥス

2019年にベルリン留学中に結成。以来常設のピアノ三重奏団として積極的な活動を続ける。2020年に東京文化会館にてデビューリサイタルを開催し、各誌にて好評を博す。同年10月に日本アコースティックレコーズより1st CD「Schubert & Shostakovich」をリリース。レコード芸術、クラシック情報誌ぶらぶら等で優秀録音として取り上げられる。クラシカルなレパートリーに加え、21世紀に作曲された音楽を含む新しい時代の曲目にも光を当ててきた。2022、23年に東京・大阪・宮崎の三都市を巡るツアーを開催。22年東京公演では日本を代表する作曲家、鈴木輝昭氏に新曲を委嘱しハクジュホールにてピアノ三重奏曲第2番を初演。Web批評誌Mercure des Arts、朝日新聞をはじめ各方面にて絶賛を博す。また、新作初演の場にも多く携っており、同時代の作曲家6人が気鋭の演奏家とコラボし新作発表を行う邦人室内楽シリーズPoint de Vueのvol.16に出演し、一夜で6作品を初演。大きな反響を呼ぶ。これまでに東京文化会館、HAKUJU HALL、サントリーホール、ザ・フェニックスホール等、国内の著名なコンサートホールで演奏を重ねる。2024年2月には2nd アルバムのリリースを予定しており、更なる飛躍が期待される。VENTUSはラテン語で「風」の意。



廣瀬心香 Mika Hirose

宮崎県都城市出身。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学を首席卒業。ドイツ国立ベルリン芸術大学学士課程、修士課程共に最高位で修了。ヴァイオリンを木野雅之、加藤知子、ノラ・チャスティン、ノア・ベンディックス=バルクリーの各氏に、室内楽を東京カルテット、アルテミスカルテットに師事。

これまでにドイツ・イェナフィルハーモニー、九州交響楽団など国内外のオーケストラと共演。桐朋学園大学卒業時には皇居の桃華楽堂にて御前演奏の機会を与えられた。宮崎国際音楽祭、レク国際音楽祭などに出演。東京文化会館にてソロリサイタルを開催。ベルリンコーミッシェオペラ管弦楽団アカデミーを経て、およびドイツ・ハノーファー州立管弦楽団でフォアシュペラー奏者を務めた。ソリストとして東京文化会館など各地でリサイタルを行い、室内楽奏者としても充実した活動を行う。2020年ピアノ三重奏団【TRIO VENTUS】では東京文化会館にてデビューリサイタル、2022年にはリサイタルツアーを行い各方面より好評を博す。日本アコースティックレコーズ社よりCD「Schubert & Shostakovich」がリリースされている。2022年結成した弦楽四重奏団【Eureka Quartet】ではベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会を始め、様々な活動を展開している。

VIOLIN

石川武蔵 Musashi Ishikawa

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)にて岡本美智子氏に師事し、同校卒業後、桐朋学園大学ソリストディプロマコースに進む。フランス・パリ国立高等音楽院に審査員満場一致で合格し渡仏し、ジャック・ルヴィエ氏のクラスにて学ぶ。2010年桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了。2011年パリ国立高等音楽院ピアノ科修士課程を首席修了。同時にブリュートナー賞を授与され、受賞記念リサイタルを開催。また、同音楽院室内楽科にてフィリップ・ベルノルド氏、ミシェル・モラガス氏に師事し2012年審査員満場一致の優秀な成績でディプロム取得。その後、スコラ・カントルム(パリ)にてジョルジュ・ブリューデルマシェール氏に師事し、2014年に上級課程ディプロム取得。同年秋に日本へ帰国。2008年より4年間ローム・ミュージックファンデーション奨学生。2015年ABC新人音楽賞。2018年テレザ・ヤクーナ国際ピアノコンクール第3位。2020年市川市文化振興財団第4回即興オーディション優秀賞。室内楽奏者としてはこれまでにサル・プレイエルやサル・コルトーなどで演奏。また現代音楽作品の初演や邦人作品のフランス初演も多数行っている。



PIANO

CELLO

鈴木皓矢 Koya Suzuki

桐朋学園大学チェロ科首席卒業。スペイン、バルセロナのリセウ音楽院、ヴィクトリア・デル・アンヘレス音楽院にてルイス・クラレット氏のもとで研鑽を積み、その後渡独。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン修士課程を修了。

5歳よりチェロを始め、桐朋学園高等学校音楽科を卒業。サイトウ・キネン室内楽勉強会、小澤征爾音楽塾オーケストラプロジェクトIに参加。これまでにルイス・クラレット、ダミアン・ヴェントウラ、倉田澄子、常光聡、ヴァーツラフ・アダミーラの各氏に師事。室内楽を東京カルテット、アルテミス・カルテットに師事。ピーター・ウィスベルウェイ、エンリコ・ディンド、トウルルス・スヴェンの各氏のマスタークラスを受講。第10回ラス・コルツ国際コンクール器楽部門第4位入賞。日本チェロ協会主催「第9回チェロの日」にソリストとして出演。東京文化会館にて2019年にソロリサイタル、2020年に室内楽リサイタルを開催。各方面より好評を博す。2022年にはピアノ三重奏団「TRIO VENTUS」としてリサイタルツアーを開催。各誌にて絶賛を博す。また各地のオーケストラに首席奏者として客演している他、弦楽四重奏団「Eureka Quartet」のメンバーとしてベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏会シリーズを開始し、積極的な活動を展開中。日本アコースティックレコーズより「TRIO VENTUS Schubert & Shostakovich」がリリースされている。



2024.2.23リリース! TRIO VENTUS 2nd CD「LUX」

シューマン:ピアノ三重奏曲第1番 二短調 作品63 Robert Schumann:Piano Trio No. 1 in D Minor op.63
ヴォルフガング・リーム:見知らぬ土地の情景III Wolfgang Rihm:Fremde Szene III
ラヴェル:ピアノ三重奏曲 イ短調 Maurice Ravel:Piano Trio in A Minor

価格:¥3,080(税込) 発売元:日本アコースティックレコーズ

